

質問項目 ▶ 教育について 燕市表彰式について 健康について



通学カバンの軽量化について

さいとうかずや
齋藤和也 (創成)



答 軽量化タブレット切替、置き勉強

問 通学カバンは重く
なっており、小学生
は教科書・問題集・体操
着に加え、タブレット端
末、水筒を、中学生は部
活動の道具を加えて毎日
10キロを超えている。学
習指導要領の改訂で教科
書はページ数が増え厚く
なり、大判化も進んでいる。
問 重い荷物による児童
生徒への健康面での
影響について、市として認
識はあるのか伺う。
答 子供たちから直接相
談はないが、保護者
からの相談はいくつかある
ことは認識している。
問 大判化される理科や
社会はデジタル教科
書等を活用しているのか伺う。
答 理科社会ではなく、
文部科学省から無償
提供されている英語のデジ
タル教科書を導入している。

通学時に持ち運ぶ備品リストと重さについて

項 目 名	推定最小重量 (kg)	推定最大重量 (kg)
リュック	1.2	1.2
スポーツバッグ	0.8	0.8
トートバッグ	0.3	0.3
教科書・ノート	3.5	4.5
ファイル類	0.5	0.5
ペンケース	0.2	0.2
バインダー・文具	0.3	0.3
ノートPC・タブレット端末	1	1.3
水筒	0.7	1
合 計	8.5	10.1

カバンの中身か
ら各備品の重さ
を算出

問 がん検診の受診率が
下がっているが、検
診体験などは行っている
のか伺う。
答 当市は様々な健康団
体がある。会員数は
約1000名で大小様々な
取り組みやイベントを行い、
体験ブースを設けて検診に
ついて啓発を実施している。

健康について

内している。

質問項目 ▶ 2050年に向けての課題 イノシシの対策



独居高齢者の対応は

ふじいひでと
藤井秀人 (新風みらい)

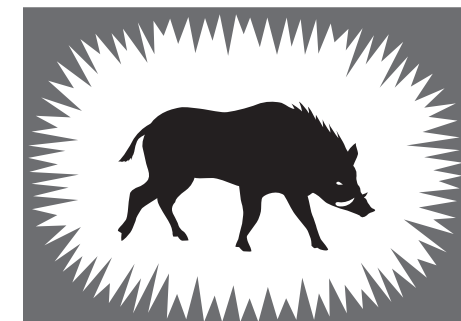


答 社会福祉課が窓口となり行っている

問 65歳以上で配偶者
と子など3親等以
内の親族がいない「身寄
りのない高齢者」が、2
050年には448万人
になる見込みであること
が日本総合研究所の試
算で分かった。未婚化の
進展などで2024年に
286万人の水準が1.
5倍に膨らみ、2050
年時点では高齢者の9人
に1人程度を占めると予
測されている。
問 当市の現状を問う。
答 燕市では65歳以上の
独居世帯は令和6年
3月時点で4684世帯、
全世帯の15%である。
問 老後の施設入居など
で求められる身元保
証人のほか、遺体の引取
人がいない事例はあるか
伺う。
答 施設へ入所する際は、
身元引受人を選任す
ることを基本としている。
遺体の引取人がいない方
の場合、法律に基づき市
が火葬を行う。

イノシシの防除 対策は

問 イノシシ対策はどう
行ってきたか、今後
の防除対策は何か。
答 国上山周辺のイノシ
シの生息はこの数年
で急速に増しており、職員
の研修を行い、専門家の指
導を受けて知識や技術の
向上に努めている。令和
7年度予算では、業者を
講師とした対策セミナー
を開催する予算を計上し、
対策を進めていく。



令和6年度の出
没件数5件、捕
獲頭数等5頭で
増加傾向にある

質問項目 ▶ 教育について



不登校支援の在り方は

たかはしたまこ
高橋妙子 (創成)



答 本人や保護者の状況に寄り添い支援する

問 不登校支援に関し
ては学校に登校す
ることだけを目的とする
のではなく、児童生徒が
社会的に自立し、自分ら
しく生きていけるように
支援していくことが重要
である。
問 自律神経系の異常で
循環器系の調節がう
まういかなる疾患の起
立性調節障害から、学校へ
行くことができない児童生
徒も多いと認識している
が、燕市の認識と対応は
どうか伺う。
答 起立性調節障害に関
しては学校生活でも
対応が必要と認識してい
る。各校では個々の状況
に応じた登校時刻の設定
や授業の参加の仕
方を保護者と相談
しながら柔軟に対
応している。必要に
応じ医療機関と連
携しながら安心し
て学校生活が送れ
るよう支援している。

教育支援センターの設置

学校や教室に行けなかったり、行きにくいと感じ
たりしている子どもたちのために開設していま
す。各教室の開設時間やお子さんの希望に沿って、
割り振りをします。規則正しい生活リズムと自主
性を大切にしています。

校内教育支援センター(旧・校外通学指導教室)
市立中学校5校に設置しています。それぞれに、
教育支援センター担当が配置されています。
校外教育支援センター(旧・校外通学指導教室)
各地区に1か所ずつ設置しています。それぞれに、
指導員が配置されています。
○燕地区 「エンゼルルーム」(中央公民館内)
○吉田地区 「山吹の部屋」(吉田武道館内)
○分水地区 「たんぽぽの部屋」(分水福祉会館内)

子供の声と自主性を
大切に

問 ターに代わる居場所を設
置している学校もあるが
支援の状況を伺う。
答 小中学校では不登校傾
向の児童の支援に、
校長や養護教諭が校長室
保健室などで児童の補習学
習や悩み相談を行っている
学校がある。小学校では担
任以外の職員が少なく、不
登校傾向の児童への対応が
難しいことから校内教育
支援センターを新年度に設
置したいと考えている。

質問項目 ▶ 燕市の農業振興 障がい者支援の現状と活動支援



録画映像

地域計画に今後どう関わるか

佐野大輔 (新風みらい)

答弁

担い手支援や新規就農者の確保を進める

問 「地域計画」は、「地域農業の将来の在り方」と10年後の耕作者を示した「目標地図」で構成される「地域農業の未来の設計図」である。地区ごとに農家さんが集まり協議し、現在は市HPで公表されている。

答 策定に当たってどれだけの農家の方が参加したのか。また実数はどれくらいか。

問 市内の2570名の農家に案内し、3回の協議で述べ496名が参加したが、実数だと181名と1割に満たなかった。

答 今後10年後の目標地図をはじめとする地域計画の実行に向けて市はどう関わるのか。

問 地域計画は今年度、作成して終わりではなく必要に応じて協議、更新を行うことになる。地域の実情に沿った計画となるように、規模拡大を目指す担い手への支援や新規就農者の確保に向けた取り組みを進めることで、この



農業の集約化、集積化は喫緊の課題
(ドローンによる農薬散布の様子)

地域計画の実行に向けて支援していく。

問 今後の燕市の農業について市長はどう考えるか。

答 日本にとつて農業は守らなければいけない。一方で、燕市においては他業種へ農地転用をしながら土地利用を図ることもあるべき姿だと考える。その上で、守るためにチャレンジファーマー事業や食べて応援キャンペーンなどもしっかりやっていく。

質問項目 ▶ 持続可能都市の実現



録画映像

公共交通のさらなる充実を！

小林由明 (創成)

答弁

利便増進につながる施策を展開する！

問 さらには踏み込んだ公共交通の充実が必要ではないか。

答 公共交通の充実には、移動手段の確保にとどまらず、健康増進など様々な効果もある。利便性向上のための取組を進めていきたい。

問 きららん号、スワロー号の休日運行を実現できないか。

答 スワロー号は休日運行に向けた二一ス把握に着手する。きららん号は、民業圧迫の可能性

自家用車依存が家計負担を重くする

■ 都市規模別に集計した交通分野の家計支出

◆ 地方都市圏は、自家用車の維持・利用に関わる支出が多くなる傾向。交通分野の支出が家計に重くのしかかる
⇒ クルマ以外の選択肢を求める若者層・・・居住地選択に影響

(2019年家計調査) ※2人以上世帯	交通分野の家計支出	公共交通運賃等	自家用車維持・利用
政令指定都市/東京都都区部	226,125	72,800	153,325
人口15万以上の都市(上記除)	249,243	52,536	196,707
人口5万以上15万未満の市	268,379	45,911	222,468
人口5万未満の市/町村	286,289	29,065	257,224
	(円)	(円)	(円)

自家用車依存度が高い地域では、家計や生活時間に余裕が生まれず、「地方創生」が一層困難に



地域公共交通政策の課題と求められる視点

女性や若者層の居住地選択に公共交通機関の充実度が大きな影響を与えている

問 新潟県では鉄道整備促進協議会に活性化分科会を設置し、県や沿線自治体、関係機関が路線維持のため利用促進について協議、検討を行っている。

答 弥彦線、越後線の運行確保、運行時間の拡大等について、県や沿線自治体、事業者などの議論はどのような状況なのか。

や予約センターの人員確保等が課題であり、引き続きの研究が必要である。

質問項目 ▶ 若者支援 父親の子育て支援



録画映像

市政に若者の声を！

近藤隆行 (公明党)

答弁

まずは未来をつくる人材育成から

問 「つばめ若者会議」の活動は、市内外で評価され、国からも表彰された。今後の燕市のためにも、人材の拡大と未来に関わる活動を期待している。

答 現在中学校の部活動の地域移行が進んでいるが、つばめ若者会議の新たな人材の裾野を広げるためにも、高校生が活動している「まちあそび部」を、中学校の部活動の一つとして選択肢に加えてはどうかと考えるが、市の見解を伺う。

問 「まちあそび部」の中学生への体験を考えている。部活動の選択肢として加えるかは今後検討していく。

答 他自治体の若者の集まりにはこれからのまちづくりのため、予算提案権を持ち、予算の使い道も含めて政策立案をしている。燕市でも行うのはどうか。

問 現在の「つばめ若者会議」は、未来をつくる人材育成事業であると考えている。今後はそのような意見もメンバーに



燕市を代表する若者の団体である「つばめ若者会議」

確認しつつ進めたい。

問 父親の産後うつへの周知を！

答 父親の育休取得が燕市でも増加しているが、父親の産後うつへの把握はあるか。

問 今のところ把握はない。

答 父親の産後うつへの周知はしているか。

問 していないので、様々な機会を捉えて、説明と周知をしていく。

質問項目 ▶ 子供の居場所 本市の観光振興 燕市における良寛の意義と活用



録画映像

不登校者の居場所づくり

大島靖浩 (創成)

答弁

個々の特性に配慮した支援を実施する

問 不登校対策として児童生徒の居場所について伺う。

答 「家から出られるが学校にいけない」児童生徒には、3か所の校外教育支援センターを、また「登校はできるが教室に入りにくい」という児童生徒には、市内全ての中学校に校内教育支援センターを開設し、小学校では校長室や保健室などで、個々の特性に応じた支援を実施している。

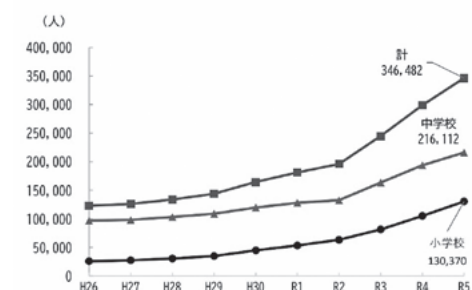
問 これからのまちづくりは

答 良寛をより理解しながら観光できる国上山周辺のエリアを充実させることで、交流人口の拡大が図られる。

問 燕市の特徴あるまちづくりについて伺う。

答 都市計画マスタープランの地区別構想に

不登校児童生徒数の推移



出典：「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」

不登校児童生徒数は11年連続で増加、過去最多となっている

より燕・吉田・分水地区における将来像やまちづくりの方針を示している。これまで培われてきた各地区の優位性を活かし、特色あるまちづくりをさらに発展させることは行政運営上、大変重要であると認識している。

マークがついた枠内は、議員が質問の背景や説明をまとめたものです。

マークしてある質問項目は本文に内容を掲載しています。

質問項目 ▶ 下水道の問題 教育問題



録画映像

燕市の下水道の問題について

つちだ のぼる
土田 昇
(日本共産党議員団)

答弁

旧燕地区の下水道は 50 年経過している

問 埼玉県八潮市で起きた大規模な道路陥没事故は、下水道の破損が原因と大きく報道された。旧燕地区は本管の建設から50年前後が経過している。今後厳しく点検していく必要があると思うが、今後の対応と認識について伺う。

答 旧燕地区の下水道は、昭和54年の供用開始から46年が経過している。中でも本町排水区の合流管は、建設から50年以上が経過している本管もあり、老朽化が進んでいる状況だと認識している。

このような状況に対応するため、下水道管の長寿命化計画を平成25年度に策定し、幹線合流下水道管の内面に新しい管を構築する改築更新事業などの予防保全に取り組んできた。

令和2年度から、下水道施設全体の維持管理、改築を一体的に捉えて計画的、効率的に管理するストックマネジメント計画に



引き続き下水道管の定期的な点検や路面巡視などを実施し、市民が安全に安心して暮らせるように努めてほしい

移行し、引き続き幹線合流下水道管の改築更新事業を実施しているところである。

今後も計画に基づき、腐食が生じやすい環境にある下水道管の定期的な点検を実施し、市民の皆様が安全、安心して暮らせるよう努めていきたいと考えている。

質問項目 ▶ 新分水良寛史料館の構想 コミュニティバスの運行



録画映像

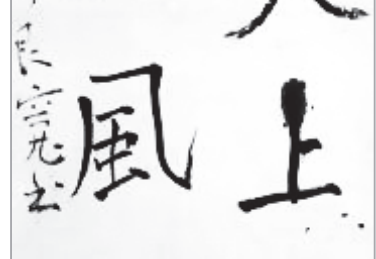
構想、内容については柔軟に

タナカ・キン
(市民クラブ)

答弁

魅力ある「新分水良寛史料館」を目指す

問 これまでの史料館は良寛を知っている人、ある意味知っている人だけが対象だった。新しい「良寛史料館」は良寛が大好きな人も、良寛を知らない人も、みんなが楽しめるような内容にしていく必要がある。出雲崎には「良寛記念館」、輪島は「良寛美術館」。燕は「分水良寛史料館」である。史料館というネーミングだとイメージが古く、仮に「ミュージアム」という名前を考える。良寛は漢詩や和歌、そして書が有名だが、俳句も100句ぐらい詠んでいる。来館者に俳句を詠んでもらう。そのため



良寛が燕の土手で子供にせがまれ、風に書いたという書

問 「新分水良寛史料館」のネーミングやコンセプトは重要であるがいかか。

答 「新分水良寛史料館」の基本構想は令和6年度中での策定には至らず、引き続き検討を行っていく。経緯、詳細については、別途時間を設定し、説明していく。

には四季の変化を映像で見せるシアタールームを設置する。今年に入って良寛の英訳本も出版されている。

また、土産品として「天上大風」でカラフルなTシャツを作る。いろいろと、これまでにない柔軟な発想で考える必要がある。

質問項目 ▶ 原発再稼働問題 保育園・こども園 学校及び学童保育



録画映像

再稼働問題にどう答えるか

ながい ゆきお
長井由喜雄
(日本共産党議員団)

答弁

反対せざるを得ないと答えるつもりだ

問 署名は知事の公約を後押しすることにもなる。県民投票で再稼働の是非と決めることについてどう考えるか。知事としての意見を付して県議会に出されることになる。市長に意見を求められたらどう答えるか伺う。

答 権限のない私が軽々と申し上げる立場ではないが、様々な判断材料を総合的に勘案し、最終判断をすれば十分にあり得るやり方だと思う。

市長会の中で問われたら、東京電力の原発事業者としての適格性、不祥



県民投票条例を求める署名は全県から14万3196筆が寄せられ、県に提出された

事が続いている状況、豪雪時に屋内退避でいいのか、誰が除雪するのかなど、実効性ある避難計画が見えず改善されない現状では、私としては反対せざるを得ないと答えるつもりだ。

質問項目 ▶ 教育について 人権教育・啓発推進事業



録画映像

ICT教育の弊害は

いなむらたかゆき
稲村隆行
(創成)

答弁

学力状況把握しバランスをとっていく

問 文部科学省の「IGAスクール構想」により、全国の小中学校で1人1台のコンピュータ、またはタブレット端末が整備されている。主体的・対話的な学びや個別最適な学びを行うことを目的としているが、海外では、過度なICT教育が学力低下につながることが指摘されており、欧米ではデジタル教科書から紙の教科書を再導入する動きが進んでいる。

答 タブレット端末導入時と比べて、現在1日当たりのタブレット端末の使用時間がどのように変わったか伺う。

問 小中学校ともに、ほぼ全教科でタブレット端末を使用しており、1日平均2〜4時間使用している。学年が進むにつれ、使用時間は増加している。

答 デジタル教育は利点もあるが、脳の発達においてはアナログ教育が重要である。紙に文字を書くことや紙の文章を読むこ



スウェーデンは2009年導入のデジタル教科書を2025年に紙の教科書に戻す方針

とが脳の発達を促し、言語能力が向上することがデータで示されているため、従来のアナログ教育とのバランスを取ってデジタル教育を行っていただきたいがどうか。

答 子供たちの学力状況を把握しながら、どのバランスがいいのかを研究していきたい。

質問項目▶ 地域経済の現状と事業者支援



録画映像

地域経済の現状と事業者支援

宮路敏裕
(日本共産党議員団)

答弁

賃上げは重要課題、国の対策を注視する

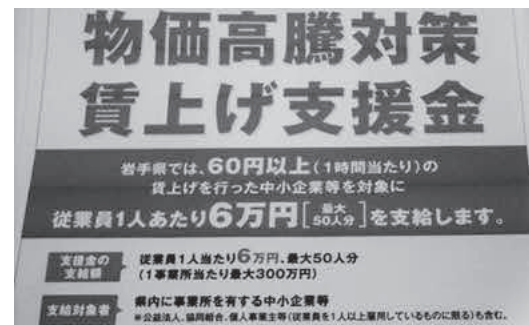
問 事業者は物価高騰に価格転嫁が追いつかない厳しい状況下にある。市として、実態把握に努め、事業に寄りそう姿勢を貫いてもらいたい。

答 様々な施策で持続可能な事業展開に向けて企業力の強化を図つてもらいたい一心で、産業振興の予算を組んでいく。

問 県実施の物価高騰等対策特別融資で、市による信用保証料上乗せ補助の実績と見込みどおりの結果であるのか伺う。

答 1月の臨時議会で予算増額補正を行なった。申請数は、1月末時点で保証件数181件、保証金額15億7300万円、保証料補給金額3401万円。本制度融資はコロナ禍での国支援がなくなった折、県がつくった制度で、県と市が両方で信用保証料を補給したことで利用が伸びている。

問 岩手県で、中小・小規模事業所が賃上げ実施を条件に独自支援するが、これについての所見を



岩手県の賃上げ支援事業

答 岩手県の賃上げ促進支援は「時給60円以上賃上げをした中小企業に対し、従業員数掛ける6万円を直接支援する」という施策である。一定の効果は認めるが、単独実施では効果は限定的となり、根本的な解決にはつながらないと考える。市として、中小・小規模事業者の賃上げは重要課題と認識し、国の対策、県の動向を注視していく。

質問項目▶ 市役所内のデジタル化 産業史料館周辺施設のコラボ 教員の確保と働き方改革 農業について



録画映像

市役所のデジタル化の現状は

齋藤信行
(創成)

答弁

AIの活用、タブレットの活用はどうか

問 市役所内のデジタル化の現状、AIの活用、タブレットの活用はどうか。

答 市民サービスの向上ではコンビニでの証明書発行や書かない窓口、各種申請のオンライン化など。業務効率化では、生成AIやAI音声認識ソフトを利用し事務負担を軽減。具体的には令和6年4月から導入し、資料作成やアイデア出しなどに現在3割程度の職員が活用している。音声認識ソフトにより会議録作成時間の短縮を図っている。職員は自席のタブレットを庁舎内で自由に持ち運んで会議や打合せに活用し、資料のペーパーレス化を図っている。

問 ハレラテつばめ周辺施設と連携を

答 産業史料館周辺施設ハレラテつばめなどでのコラボは、多様な世代の交流拠点と位置づけており、8月開館予定の屋内こども遊戯施設「ハレラテつばめ」



完成後、交流人口が増えてほしい「ハレラテつばめ」外観イメージ図

め」のオープンに伴い、さらなるにぎわいの創出を期待している。そのため周辺情報等を提供するホームページ作成や、大型タブレットをエリア内の各施設に配置し、利用者の利便性を向上させ、エリア全体を活性化し周辺施設と連携しにぎわいを創出したい。

質問項目▶ 地域資源の可能性 家庭ごみ収集 安全・安心に暮らせるように



録画映像

資源ごみも収集しやすく！

岡山秀義
(創成)

答弁

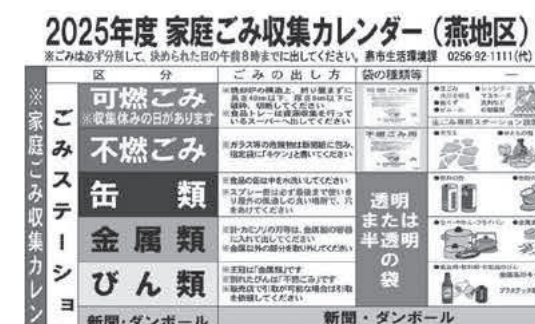
令和11年度ごみステーション収集検討

問 ペットボトルなどの資源ごみは現状では拠点収集で実施しているが、資源ごみを収集場所まで持込むことが困難な市民も多い。車移動できない高齢者は特に大きな負担となっている。他自治体のように、ビンやカンと同様に、ごみステーションで収集できるように早く考えるべきと思うが所見を伺う。

答 一般廃棄物処理基本計画内で新たにプラスチック類の資源化を目指しており、令和11年度からの処理収集体制の確立を目指している。

問 旧学校施設などの公共施設は少子化が進み、あらゆる地域で統廃合していかねばならない。児童・生徒や市民が利用している公共施設は、地域のシンボルであり大切な

答 旧学校施設などの公共施設は少子化が進み、あらゆる地域で統廃合していかねばならない。児童・生徒や市民が利用している公共施設は、地域のシンボルであり大切な



問 財産であることから、施設の利活用について考えるべきである。

答 市民や企業などから旧校舎利用について希望があった場合の対応を伺う。

問 利用希望があった場合は用地管財課に相談し、地元自治会から了承を得た上で利用内容や団体の性質等により、可否を判断している。

答 拠点収集。歩いて持つて行けない！高齢者に負担をかけない優しいごみ収集を！

見聞 視察レポート

燕市議会の議会広報等特別委員会と議会運営委員会が行政視察を行いました。それぞれの委員会に付された、閉会中の継続調査として、わかりやすい議会情報の発信や議会活性化、議会改革などのさまざまな議会運営等の課題解決のヒントを得るため、同様の問題を解決したり、成果が出ている他議会を視察しました。今後、課題解決に生かしていきます。



議会広報等特別委員会 1月28日(火)～29日(水)

視察先 岩手県金ケ崎町・群馬県玉村町



岩手県金ケ崎町は、全国町村議会議長会で行っている議会広報コンクールで18年連続して入賞している。コンクールは、住民の立場に立った編集が審査基準の第一義となっている。

議会運営委員会 2月3日(月)～5日(水)

視察先 神奈川県茅ヶ崎市・神奈川県横須賀市・埼玉県川越市



埼玉県川越市は、全国に先駆けて市議会のハラスメント根絶に関する条例を制定した。さらに、政治倫理条例も制定し、特に人権侵害に関わる条項を設置していることが特徴であるという。

マークがついた枠内は、議員が質問の背景や説明をまとめたものです。

マークしてある質問項目は本文に内容を掲載しています。